

インマヌエル中目黒キリスト教会
2010年11月7日
聖日礼拝

1テサロニケ連講15

「目を覚まして歩む」

1テサロニケ5章1-11節

竿代 照夫 牧師



聖書朗読

新約聖書

1テサロニケ5章1-11節

1 兄弟たち。

それらがいつなのか、
またどういう時かについては、
あなたがたは
私たちに書いてもらう必要が
ありません。

2 主の日が夜中の盗人のように来る
ということは、
あなたがた自身が
よく承知しているからです。

3 人々が「平和だ。安全だ」と言っているそのようなときに、突如として滅びが彼らに襲いかかります。ちょうど妊婦に産みの苦しみが臨むようなもので、それをのがれることは決してできません。

4 しかし、兄弟たち。
あなたがたは暗やみの中には
いないのですから、
その日が、
盗人のように
あなたがたを襲うことは
ありません。

5 あなたがたはみな、光の子ども、
昼の子どもだからです。
私たちは、
夜や暗やみの者ではありません。

6 ですから、
ほかの人々のように
眠っていないで、
目をさまして、
慎み深くしていきましょう。

- 7 眠る者は夜眠り、
酔う者は夜酔うからです。
- 8 しかし、私たちは昼の者なので、
信仰と愛を胸当てとして着け、
救いの望みを
かぶととしてかぶって、
慎み深くしていきましょう。

9 神は、

私たちが御怒りに会うように
お定めになったのではなく、
主イエス・キリストにあって
救いを得るように
お定めになったからです。

10 主が私たちのために
死んでくださったのは、
私たちが、
目ざめていても、眠っていても、
主とともに生きるためです。

11 ですから、あなたがたは、
今しているとおり、
互いに励まし合い、
互いに徳を高め合いなさい。

説教

1テサロニケ連講15

「目を覚まして歩む」

1テサロニケ 5章1節-11節

竿代 照夫 牧師

主テキスト：

「あなたがたはみな、
光の子ども、
昼の子どもだからです。
私たちは、
夜や暗やみの者ではありません。
ですから、
ほかの人々のように
眠っていないで、
目をさまして、
慎み深くしていきましょう。」

1テサロニケ5:5-6

1. 主の再臨は、 思いがけない時に起きる (1-3節)

- 突然性：盗人のように、
予告無しに起きる
- 意外性：平安を唱える人々の
意表を衝いて起きる
(マタイ24:37-39)
- 不可避性：妊婦のお産のように
逃れられない

2. 昼の子供として生きる(4-9節)

- 昼の子供が恐れることはない
- 「眠らないで」
目を覚ましてしていること、
しかも「慎み深く」あること
- 5人の賢い乙女と5人の愚かな乙女：
問題は予備の油を持っていたか
否か

・「目覚める」べき勧め

① 堅く信仰に立つ

(1コリント16:13)

② 悪魔に対して警戒する

(1ペテロ5:8)

③ 祈りの継続(エペソ6:18)

④ 僕として勤める(マタイ24:42-45)

⑤ 聖霊の油を絶やささない

(マタイ25:13)

⑥間違った教えに警戒する
(使徒**20:30-31**)

⑦死にかけてた信仰を回復する
(黙示録**3:1-2**)

- ・救いの完成を待ち望む姿勢

3. 希望によって励ましあう (10-11節)

- ・ 主とともに生きることが
キリスト者の幸せ
- ・ 励まし、立て上げ合う

終わりに

- ・ 再臨を意識して生活を整えよう
- ・ 私が「目覚めるべき」分野に、
主の光を頂こう